



地球の息づかいを見つめる目

地球の「今」を知り、私たちの「未来」に活かす

温室効果ガス観測技術衛星 **GOSAT いぶき** H-IIAロケット15号機による
打ち上げ

- ❖ 打ち上げ予定日：平成21年1月21日水曜日
- ❖ 打ち上げ予定時間帯：12時54分～13時16分(日本標準時)
- ❖ 打ち上げ予備期間：平成21年1月22日木曜日～1月25日日曜日
- ❖ 打ち上げ場所：種子島宇宙センター 大型ロケット発射場
- 平成21年1月27日火曜日～2月28日土曜日



JAXAウェブサイト ▶▶▶ http://www.jaxa.jp/countdown/f15/index_j.html
MHIウェブサイト ▶▶▶ <http://h2a.mhi.co.jp/f15/>



「いぶき」(GOSAT)はJAXA、国立環境研究所、環境省の共同プロジェクトです。

この星に、たしかな未来を。

Dramatic Technologies



空へ挑み、宇宙を拓く





地球の息づかいを 見つめる目

温室効果ガス観測技術衛星

「いぶき」



現在、世界で取り組もうとしている地球温暖化対策をさらに進めるためには、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの地球上でのふるまいを正しく知る必要があります。温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)は、JAXA、国立環境研究所と環境省の共同プロジェクトで、宇宙から温室効果ガスを観測する世界初の人工衛星です。「いぶき」のデータは、地球温暖化にかかわる地球の「今」を知り、私たちの「未来」のために活用されます。

産業革命以降、人間活動による世界の温室効果ガスの排出量は増加し続けており、我々がこのまま化石燃料に依存し続けた場合、2100年までに気温は約4℃上昇するとも言われ、干ばつ、熱波、洪水など極端な気象現象のリスクの増加が懸念されています。「いぶき」のミッションは温室効果ガスの微小な変化も見逃さず監視し、私たちの未来のために貢献することです。地球温暖化問題の対策への貢献という大きな使命を持って、開発を進めています。

「いぶき」は約100分で地球を一周しながら、1つのセンサーで地球表面のほぼ全体にわたって温室効果ガスを測れるため、地上や航空機での観測に比べて圧倒的に数多くの地点のデータを取得することができます。その数、なんと5万6000点! このため世界各地の温室効果ガスの増減を高い精度で算出することができるのです。

■「いぶき」の仕様

軌道	高度666km、太陽同期準回帰軌道、傾斜角 約98度
質量	約1,750kg(打ち上げ時)
発生電力	3.8kw(寿命末期)
設計寿命	5年
打ち上げ	2009年1月21日/H-IIAロケット
打ち上げ予備期間	1月22日～1月25日 1月27日～2月28日



「いぶき」の観測点(標準モード5万6千点)

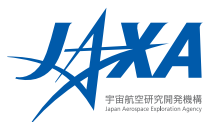


温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」



小型実証衛星1型
「SDS-1」(手前)

*JAXAの小型実証衛星1型(SDS-1)をはじめ、他6機の小型衛星も「いぶき」に相乗りして、打ち上げられる予定です。



宇宙航空研究開発機構 広報部

〒100-8260
東京都千代田区丸の内 1-6-5
丸の内北口ビルディング 2F
TEL : 03-6266-6400

- JAXA ホームページ
<http://www.jaxa.jp/>
- いぶき/H-IIA ロケット 15号機 打ち上げ特設サイト
<http://www.jaxa.jp/countdown/f15/>
- メールサービス
http://www.jaxa.jp/pr/mail/index_j.html

